



2021年8月31日

Vol
151

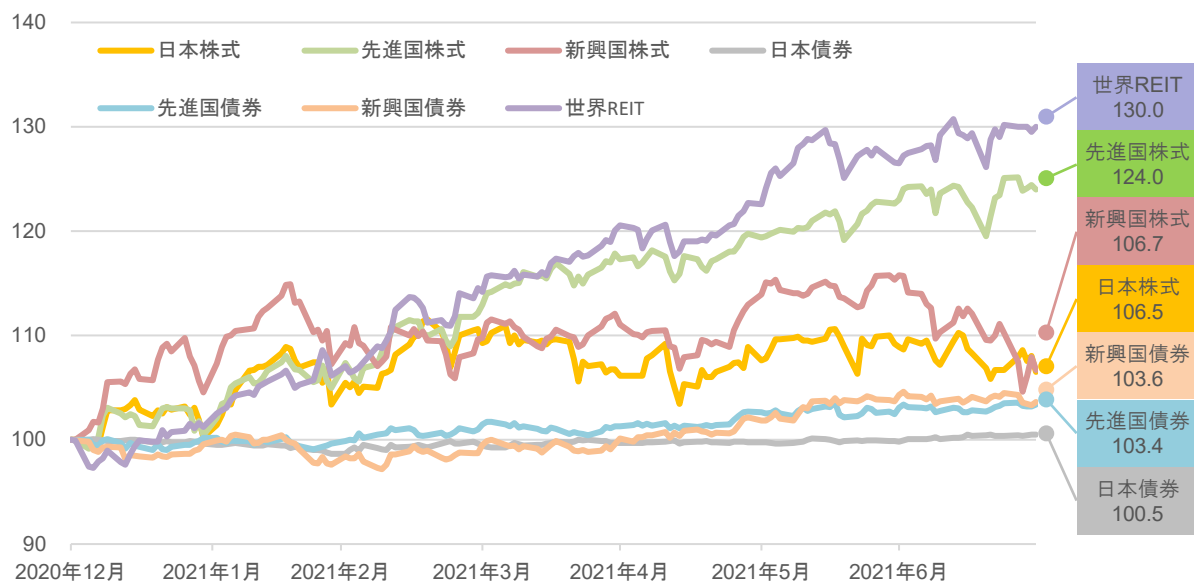
資産形成に取り入れたい分散投資。 バランスファンドを賢く活用するのがオススメです。

2021年も残すところ、約4ヵ月となりました。新型コロナウイルスのワクチン接種が普及し楽観的な見方が強まる局面もありましたが、足もとでは変異型による感染が拡大したことで景気の先行きに対して懸念が広がっているようです。

「株式ファンドに投資をする絶好のチャンスでは?」「債券ファンドで安定運用した方がいいか?」。マーケットが大きく変動するたびに、いま注目すべき資産についてご質問を頂きます。

今回は、ひとつの投資対象に絞らない分散投資と、それを資産形成に取り入れる際に持っておきたい視点についてお話します。

■(図-1)主要資産の推移(2020年12月末～2021年7月末)



2020年12月末を100として指数化

●日本株式: 東証株価指数(配当込) ●先進国株式: MSCI-KOKUSA指数(配当込) ●新興国株式: MSCIエマージング・マーケット指数(配当込) ●日本債券: FTSE日本国債インデックス ●先進国債券: FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし) ●新興国債券: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし) ●世界REIT: S&PグローバルREIT指数(配当込) ※日本株式、日本債券以外はすべて米ドルベースの指数を日興アセットが円換算※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成※データは過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの

2021年
8月

過去の主要資産のリターンから分かること

下図(図-2)は、主要資産のリターンをランキング化したものですが、何の法則性もなく、毎年の主役がコロコロ変わっていることに気が付きます。これだけ入れ替わりが激しいと、「狙いすましてひとつの資産に投資する」というのは勇気が要りそうです。

注目して頂きたいのは、分散投資(各資産に均等配分し毎月リバランスした場合のシミュレーション)です。全資産の平均値なので、1位になることも、反対にビリになることもありません。分散投資は、一般的にリスクを低減させる手法のひとつと考えられていますが、「ひとつに絞れないから、広く網を張るために分散する」という考え方もできそうです。そして、資産形成において分散投資を実践する際に、賢く活用したいのが、バランスファンドです。

■(図-2)主要資産の年間リターンランキング(2011年～2021年7月末)

2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年*
	世界REIT 39.6%	先進国株式 54.6%	世界REIT 39.7%			新興国株式 32.7%		先進国株式 27.9%		世界REIT 30.0%
	新興国株式 33.8%	日本株式 54.4%	先進国株式 21.0%		新興国株式 8.6%	日本株式 22.2%		世界REIT 23.3%		先進国株式 24.0%
	新興国債券 33.1%	分散投資 26.9%	新興国債券 20.7%		新興国債券 6.7%	先進国株式 18.5%		日本株式 18.1%	新興国株式 12.8%	分散投資 10.7%
	先進国株式 32.4%	世界REIT 24.8%	分散投資 17.8%		先進国株式 5.7%	分散投資 12.4%		新興国株式 17.7%	先進国株式 10.9%	新興国株式 6.7%
	分散投資 26.1%	先進国債券 22.6%	先進国債券 16.1%	日本株式 12.1%	世界REIT 4.0%	世界REIT 4.7%		分散投資 15.2%	日本株式 7.4%	日本株式 6.5%
新興国債券 3.5%	日本株式 20.9%	新興国株式 18.6%	新興国株式 11.7%	新興国債券 2.2%	分散投資 3.7%	先進国債券 4.5%		新興国債券 11.5%	先進国債券 6.0%	新興国債券 3.6%
日本債券 2.2%	先進国債券 20.9%	新興国債券 11.3%	日本株式 10.3%	日本債券 1.3%	日本債券 3.7%	新興国債券 4.3%		先進国債券 5.5%	分散投資 3.6%	先進国債券 3.4%
先進国債券 0.1%	日本債券 1.8%	日本債券 2.2%	日本債券 4.9%	世界REIT 1.0%	日本株式 0.3%	日本債券 0.2%	日本債券 1.1%	日本債券 2.3%	新興国債券 1.8%	日本債券 0.5%
世界REIT -3.6%				分散投資 -0.5%	先進国債券 -2.7%		先進国債券 -4.6%		日本債券 -1.1%	
分散投資 -6.6%				先進国株式 -0.9%			世界REIT -7.3%		世界REIT -12.6%	
先進国株式 -9.0%				先進国債券 -4.5%			新興国債券 -7.9%			
日本株式 -17.0%				新興国株式 -14.3%			分散投資 -8.8%			
新興国株式 -22.4%							先進国株式 -10.2%			
							日本株式 -16.0%			
							新興国株式 -16.5%			





期間：2011年～2021年 前年末と年末との比較によるリターン *2021年は7月末まで

●日本株式：東証株価指数(配当込) ●先進国株式：MSCI-KOKUSAI指数(配当込) ●新興国株式：MSCIエマージング・マーケット指数(配当込) ●日本債券：FTSE日本国債インデックス ●先進国債券：FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし) ●新興国債券：JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし) ●世界REIT：S&PグローバルREIT指数(配当込) ※日本株式、日本債券以外はすべて米ドルベースの指数を日興アセットが円換算 *分散投資：日本株式、世界株式、新興国株式、日本債券、世界債券、新興国債券、世界REITを均等配分し毎月リバランスした場合のシミュレーション※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成※データは過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。



こよみ

コールセンターからの、小さなよみもの



2021年
8月

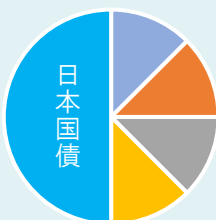
守りバランスと前向きバランスに分け、資産形成の土台に据える

バランスファンドは数が多いこともあり、選びにくいカテゴリーだと感じている方も少なくないようですが、それぞれの配分戦略に注目し、大きく2つに分けると整理しやすくなります。具体的には、預貯金の一步先とも言える低リスクの「守りバランス」と、守りながらも少し欲張る「前向きバランス」の2つです。株式やREITへの投資比率が50%を超えているかどうかを、ひとつの目安にするとよいでしょう。

資産形成に分散投資を取り入れる際は、配分戦略に注目し、自身にとって適切なバランスファンドを活用することをオススメします。

守りバランスの例

例) 日本国債を多めにしたもの



例) より多くの資産に分散したもの

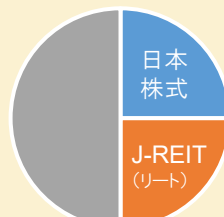


前向きバランスの例

例) 内外株式を多めにしたもの



例) 株式とREITに重きを置いたもの



nikko am

コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00